だれでも安心して暮らせる社会を

４年前に、市議会に送り出して頂き、市民の声を議会に届けてきました。

４年間の経験を活かして、もっとやれることがある、やり残したことがあると思い、２期目に挑戦します。

＊　＊　＊

コロナ感染拡大にくわえ、物価の高騰で国民の暮らしは悲鳴を上げています。それなのに、政府は軍事費の拡大と大増税を狙っています。私は、軍備拡大より平和外交を求めます。政治の最優先は、いのちと暮らしを守ることです。

＊　＊　＊　＊

私には子ども４人、孫11人がいますが、未来を生きる世代に希望がもてる世の中を手渡したいとの思いでいっぱいです。

流山市がしっかり住民に向き合う市政に変えるために頑張る決意です。

これからも、東部地域の皆さんの願いを実現するために全力投球します。

高橋あきらはこんな人

●東部地域の声を届けたい

仕事と子育てを両立、今では11人の孫育ても。11歳から暮らす流山東部地域の自然や歴史、街の大きな変化に一喜一憂することも。

市内の地域格差を悲観する声を聞くたびに、「ほっとけない」と東部地域から日本共産党の議員を議会へ送る裏方として奮闘してきました。

●東部地域 切り捨てに怒り心頭

妹尾元市議、徳増前市議の後継者として初めて市議会へ。

しかし、松ヶ丘ふるさと公園の縮小が問題になりました。

また、東部市民プールの廃止議案に、東部地域在住の他の議員は黙って賛成。怒りを込めた本会議の反対討論には、他会派の先輩議員からも「良い内容だった。スッとした」と声が寄せられました。

●医療・介護、公共交通

卓球などで鍛えた足腰を活かし、現場へ直行し、道路修繕など４年間で100ヶ所にも。一方、医療・介護・公共交通など東部地域の課題は山積みです。

子どもや孫世代の声も市政へ届け、住み続けられる東部地域へ、引き続き全力でスマッシュです。

流山民報号外
日本共産党流山市議団
http://www.nagareyama-jcp.jp/

公式ライン

日本共産党

高橋あきら

プロフィール

●1951年生まれ。小学５年から流山で育ち、小金高校卒業。43年間、印刷会社に勤務●流山市保育園父母会連合会会長、田島自治会役員など歴任、防犯パトロール隊で活動中●趣味は卓球、渓流釣り、登山、映画鑑賞、Facebookで発信中●向小金１丁目に妻と在住。☎090-6565-1749

●E-mail：akr-takahashi@jcom.zaq.ne.Jp

いのち・くらし最優先へ

軍事費増大 NO!　**軍備拡大より、対話・外交の努力を**　**大増税・福祉削減 NO!**

市民と共に力を合わせ

小学校教員の新規採用136人増

「担任がいない」、「1年間で担任が4人替わる」…市内学校現場の苦労は「ほっとけない」と「国・県・市教育委員会にも提案し、増員計画が発表されました。

住民税一部課税世帯へ支援金給付

「生活と健康を守る会」と共に、国からの価格高騰緊急支援金から漏れた、住民税一部課税世帯などへの5万円給付を要請。約2500世帯へ市独自で給付されました。

危険な通学路を安全に

八木中学校の生徒が交通事故にあわないように…「ほっとけない」と現場調査を重ね、学校の取り組みを後押ししました。

もっと住みよい流山 日本共産党4議席を実現しましょう ご一緒に

「いのち」を守る街づくり

コロナ検査センターを開設させた経験を活かし…

- 救急体制の充実、保健所の市内誘致
- 老朽化した校舎や公共施設の改修
- 虐待ゼロへ　市民に寄り添う体制づくり

財源はあります

- 予算の使い残し（余剰金）45億円を活用します。
- 水道会計の黒字（11億円）を活用すれば水道料金を引き下げられます。

「家計」応援の街づくり

看護師・介護福祉士への奨学金実現の経験を活かし…

- 指定ごみ袋「使用強制」の撤回
- 水道料金の引き下げ、国保料等値上げストップ
- 学校給食費無償化の拡充、高齢者の補聴器助成制度の創設
- 奨学金の拡充、苦学生への支援創設

身近な声が届く街づくり

4年間で100件の住民要望を実現した経験活かし…

- 東部地域の公共交通の充実を
- 免許返納者への支援創設、交通安全対策の強化